

種彦諸國物語

近江の
巻後
終

香蝶
樓画



13
3223
20



特
へ13
3223
70

天保甲午孟春發市



耶 鄭 諸 國
物 語
柳 亭 種 彦 作
歌 川 國 貞 画

近江卷
後帙上

東都芳町角

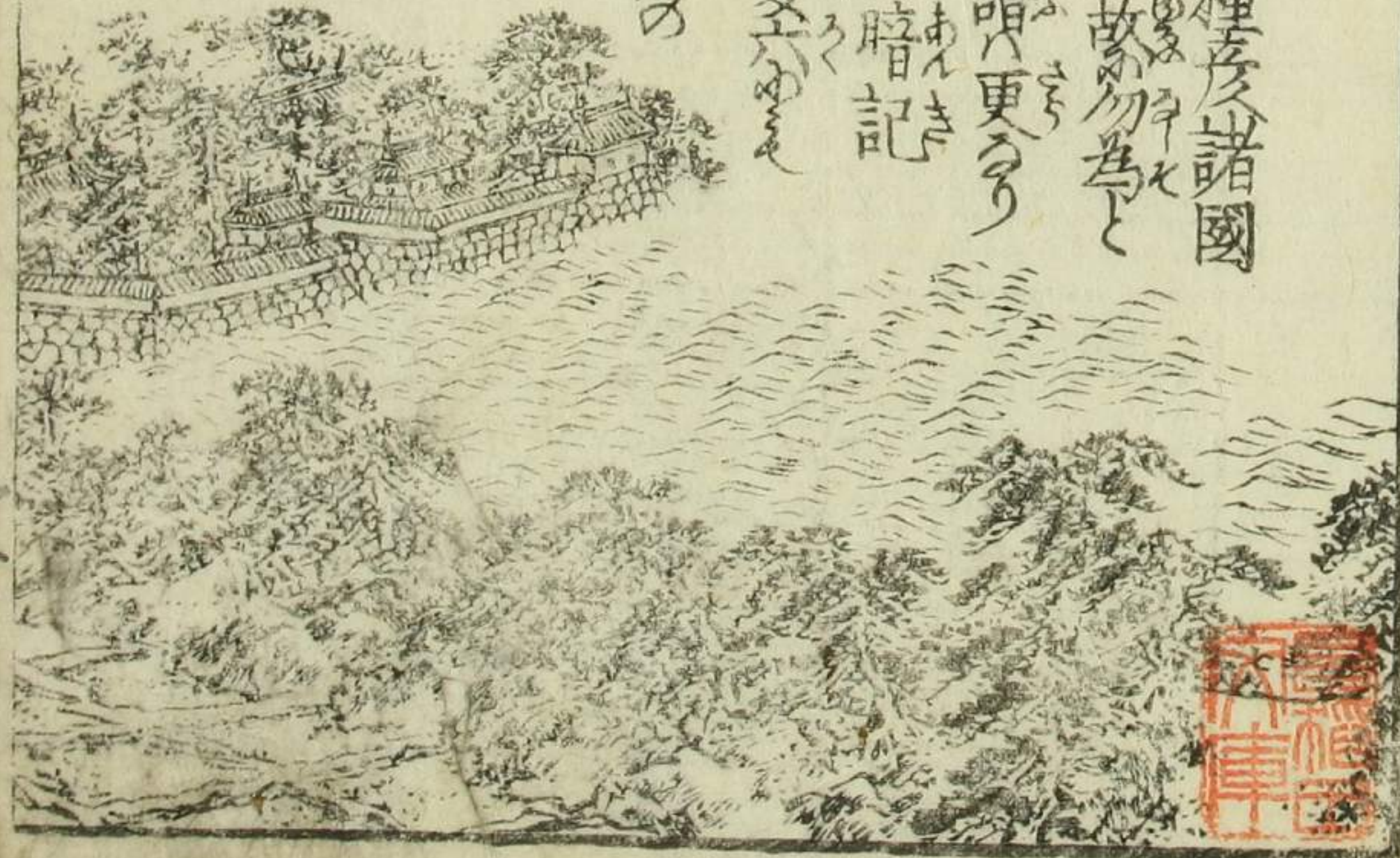
榮久堂製本

前帙四冊よあの後帙と次て近江出羽二ヶ巻の物語全とす

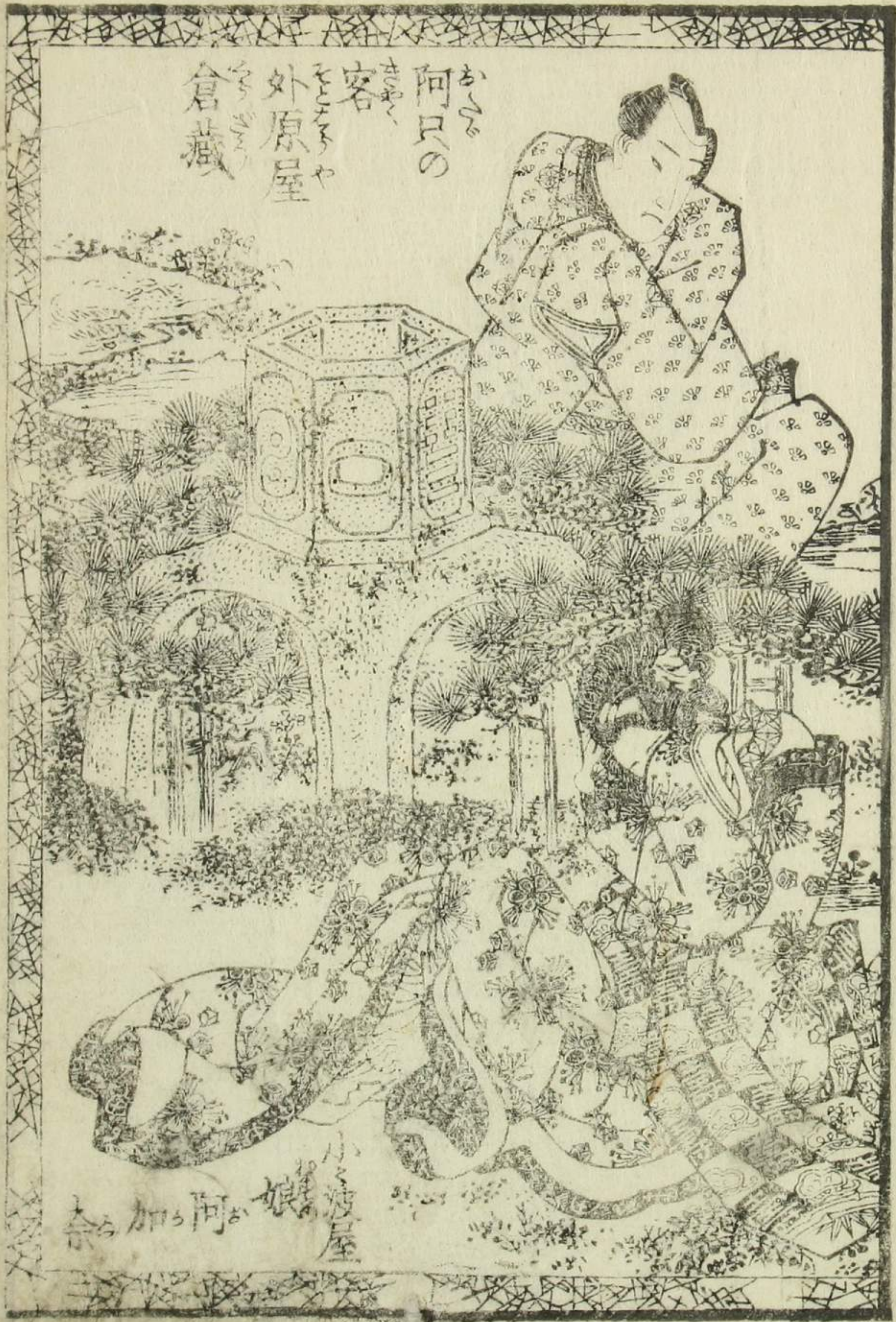
附言

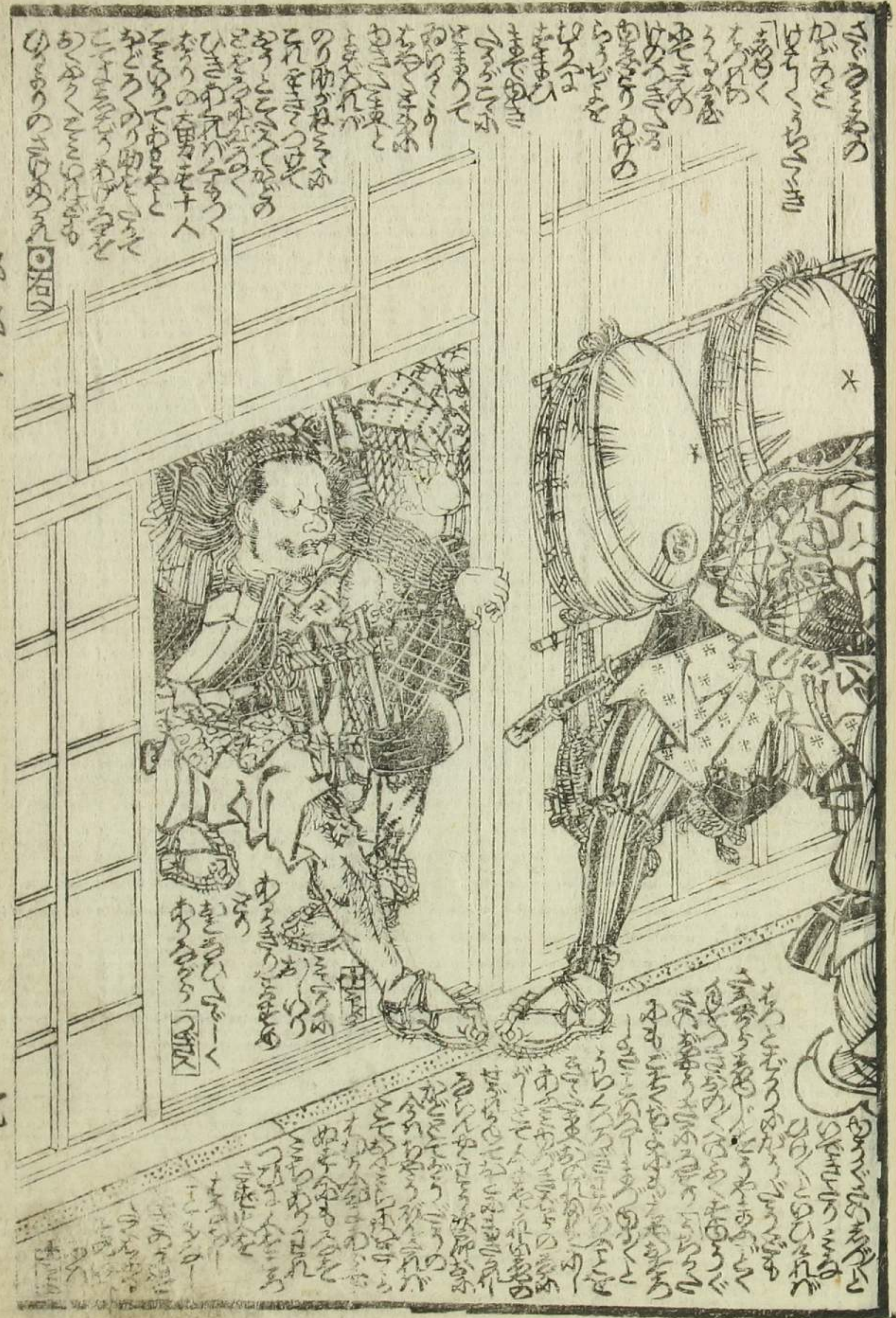
前帙發販して後表紙を今ふ既に種彦諸國
物語と記し是是書房のさうしりり故勿為と
制し榮久堂笑つて曰隨筆漫画國譜更る
赤木ゆえ家の化物十六利動をあらめとよ入暗記
せられともあの物のといらもあつ近年の浮世
画の名を題しあるは原來童子の玩弄めあ
よる賣あめりと答て更ふ改めそのゆへ八日
草浦の影あつて後まの意中お耻て尋ね
此編近江の巻とて出羽の國ありといひ短話を
附し是近江物語といふゆゑに自ら縁あり

天保五年甲午春 柳亭種彦記



東都芳町角
榮久堂製本





17

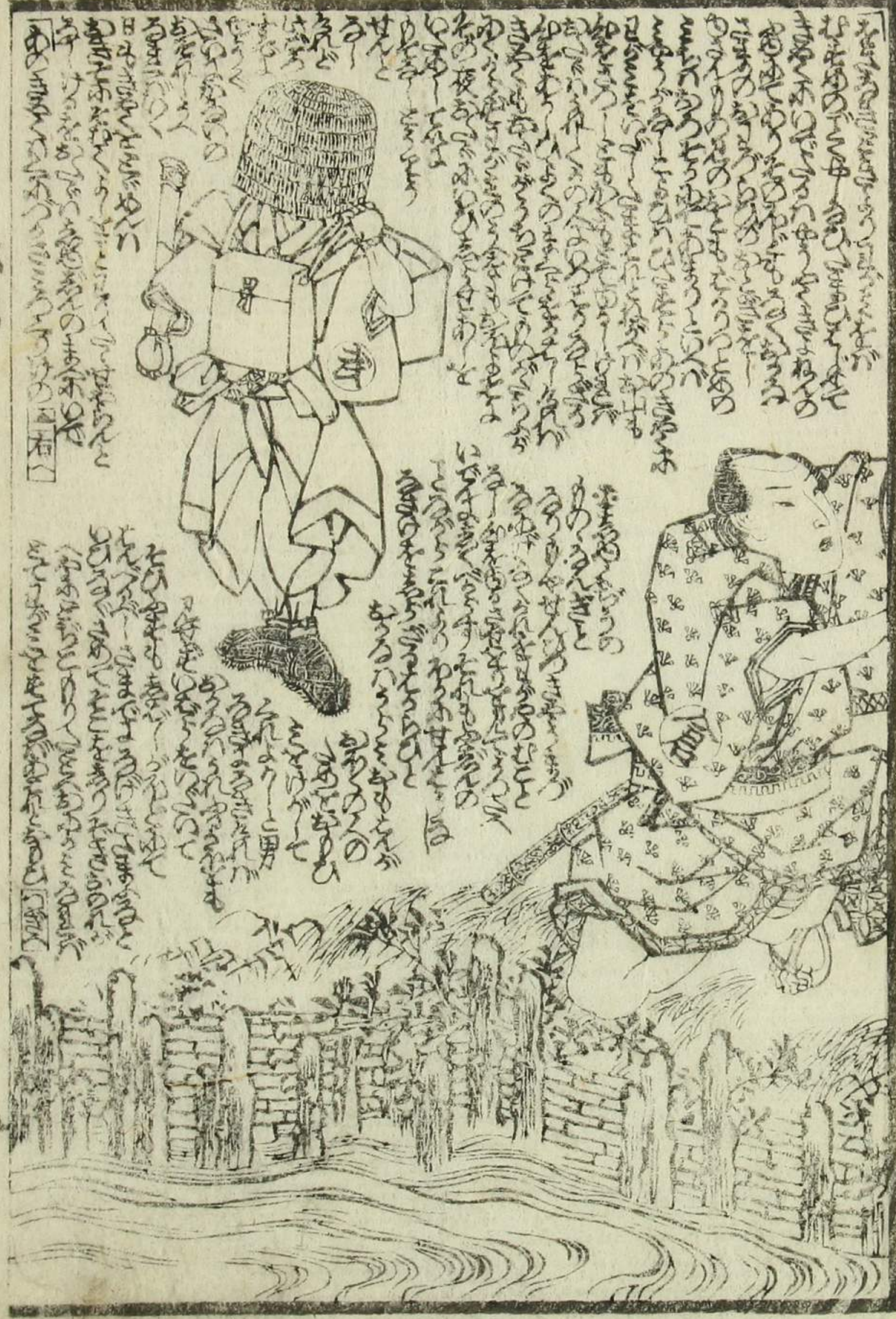
17



17

17





國貞画種彦作

天保辛丑 邯鄲諸國物語播磨の巻
 子春發行
 前編中編後編十二冊



天保辛丑 邯鄲諸國物語播磨の巻
 子春發行

柳種彦作
 歌川國貞画

この播磨の巻は、作者謹で告ぐまゝの、
 子心の續物語と異なり、一箇國を一話話の、
 たるもの先々賣出するより、讀むに、
 語とおぬい、
 大和の巻、
 板の、

近江の巻

前帙 八冊
 後帙 二合本

大和の巻

前帙 十二冊
 後帙 三合本

不絶製本たぐひの、板元芳町、橋角山本屋平吉

